

Panasonic®

取扱説明書

基本操作編

SSDポータブルカーナビゲーション

Gorilla

品番 **CN-GP757VD**

ご使用前に、「安全上のご注意」(P.6～P.13)を必ずお読みください。

- このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
 - ・説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
 - ・保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、説明書とともに大切に保管してください。
- 本書は基本的な操作を抜粋して記載しています。

詳しい操作説明については、当社サイトに掲載の取扱説明書 詳細操作編をご覧ください。P.3

※SSDとはSolid State Device (ソリッドステートデバイス) の略で、地図データの記録媒体として(大容量)フラッシュメモリーを使用したものです。

この商品は、海外ではご使用になれません。 FOR USE IN JAPAN ONLY

当社サイトで「ユーザー登録」をしてください

PC <http://panasonic.jp/navi/>

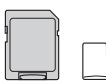
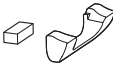
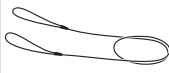
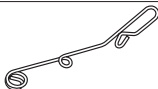
- ユーザー登録と同時に、自動的に「ナビcafe」の会員登録が行われ、インターネットでの各種サービスをご利用いただけます。



保証書別添付

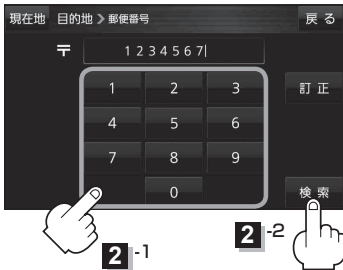
内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

番号	品 名		数量	番号	品 名		数量									
①		ナビゲーション 本体	1	⑮		microSDHC メモリー カード 8GB * ³ ※カメラユニット専用	1									
②		吸盤スタンド* ¹	1	⑯		FM-VICS用 アンテナ	1									
③		吸盤スタンド 保護用シート	1	⑰		アンテナコード (4 m)	1									
④		取付用シート* ²	1	⑱		コードクランパー	3									
⑤		コードクリップ	3	⑲		クリーナー ※ VICS アンテナ用	1									
⑥		クッション材 (小/大)	各 1	⑳		アーステープ	1									
⑦		クリーナー ※吸盤スタンド用	1	* 1 印…吸盤スタンドの吸盤面には、吸盤保護用透明フィルムが貼られています。取り付けの際は吸盤保護用透明フィルムをはがしてご使用ください。 * 2 印…取付用シート裏面には、ダッシュボードに貼り付けるための粘着テープが貼られています。 * 3 印…microSDHCメモリーカードに付属の専用アダプターは、パソコンなどで使用することができます。ナビゲーション本体には挿入しないでください。												
⑧		スタンド用 ストラップ (0.48 m)	1													
⑨		コードリール	1													
⑩		フック	1	■その他添付品												
				<table><tr><th colspan="2">品 名</th><th>数量</th></tr><tr><td colspan="2">取扱説明書 基本操作編(本書)</td><td>1</td></tr><tr><td colspan="2">保証書</td><td>1</td></tr></table>				品 名		数量	取扱説明書 基本操作編(本書)		1	保証書		1
品 名		数量														
取扱説明書 基本操作編(本書)		1														
保証書		1														
⑪		タッピングねじ (φ3×12 mm)	1	※寸法は、おおよその数値です。 ※イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。 ※包装材料などは、商品を取り出したあと、地域・自治体の定めに従って、適切に廃棄やリサイクルの処理をしてください。												
⑫		シガーライターコード (12 V/24 V車対応) (1.8 m)	1	取り付けについては下記をご覧ください。 ☞「カメラユニットを取り付ける」P.20 ☞「車に吸盤スタンドを取り付ける」P.22 ☞「車に VICS アンテナを取り付ける」P.30												
⑬		カメラユニット	1													
⑭		カメラユニット 専用ケーブル (45 mm)	1	別売品については下記をご覧ください。 ☞「詳細操作編」												

本書の読みかた

本書では、用途別に下記のマークを使用しています。本書をお読みになる前にご覧ください。

🔍 P.3 参照していただきたいページ番号を表します。	
検索 など	タッチパネル部のボタンを 黒地に白文字 で表します。
	タッチパネル操作を 表します。
2 ⁻¹	操作の順番を表します。
(例) 2 郵便番号を入力し、検索 をタッチする。 2⁻¹ 2⁻² 	

※本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※寸法・質量はおおよその数値です。

※イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

※画面表示などの色は実際と異なる場合があります。

※URLは、予告なく変更になることがあります。

本機の詳しい操作説明について

本書は基本的な操作を抜粋して記載しています。

詳しい操作説明については、下記サイトに掲載の取扱説明書 詳細操作編をご覧ください。

※スマートフォンの場合は、QRコードをカメラで読み込んで
サイトにアクセスすることができます。車内でご覧になる場合は、
車を安全な場所に停車させてご覧ください。

※本書では『詳細操作編』と省略して記載しています。



[http://car.panasonic.jp/support/
manual/navi/agree.html](http://car.panasonic.jp/support/manual/navi/agree.html)

もくじ

内容物の確認	2
本書の読みかた	3
もくじ	4
安全上のご注意	6

はじめに

P.14

使用上のお願い	14
ナビゲーションシステムについて	18
現在地の測位について	18
現在地を測位するまでの時間	18
現在地の測位ができない環境について	18
現在地(自車)マークのずれについて	19
クイックGPSについて	19
自律航行(Gジャイロ)とマップマッチングについて	19
カメラユニットを取り付ける	20
カメラユニットの取り付けかた	20
カメラユニットの取り外しかた	21
microSDHCメモリーカードを カメラユニットに挿入する／取り出す	21
車に吸盤スタンドを取り付ける	22
ナビゲーションの取り付け位置について	22
取り付け上のお願い	23
取り付ける前に	23
取り付け角度・寸法について	24
吸盤スタンドの取り付けかた	24
吸盤スタンドの取り外しかた	28
コードクリップの取り付け／取り外しかた	29
車にVICSアンテナを取り付ける	30
VICSアンテナの取り付け位置について	30
取り付け上のお願い	30
取り付ける前に	30
VICSアンテナの取り付けかた	31
動作の種類と走行中の制限について	34
動作の種類について	34
制限される主な機能	34
走行／停車判定方法について	35
電源について	35
主電源スイッチについて	35
シガーライターコード／ACアダプターで使用する	36
内蔵電池で使用する	37
本機の電源を切る	38
SDメモリーカード／ microSDHCメモリーカードについて	39
使用できるSDメモリーカード／ microSDHCメモリーカード	39
SDメモリーカードを挿入する／取り出す	40
各部のなまえとはたらき	41

ナビゲーションの操作

P.42

地図画面の見かた	42
画面のボタンについて	42
画面の表示内容について	43
地図の操作	44
地図を拡大／縮小する	44
地図表示(方位)を切り換える	44
地図スクロール(地図を動かす)	45
ナビメニュー画面／設定メニューについて	46
メニュー画面を表示する	46
現在地ボタン／戻るボタンについて	46
各メニュー画面を表示する	47
クイックメニューについて	48
設定メニューを表示する	49
自宅を登録する	50
地図から自宅／地点を登録する	51
目的地を設定する	52
登録地点から探す	52
住所から探す	53
ガイドブックを利用する	54
ガイドブック地点を利用する	55
ルートを変更する	56
経由地の追加	56
出発地／経由地／目的地の変更と削除	57
ecoドライブ情報について	58
VICS情報(FM多重)について	59
表示について	60
VICS情報(FM多重)の文字情報を見る	61
おでかけナビサポート「ここいこ」について	62
「ここいこ」ご利用の流れ	62
スマートフォンを本機に登録する	63
機器登録したスマートフォンの詳細を見る／削除する	64
接続するスマートフォンを切り換える	65
「ここいこ」で検索した地点を本機に送信する	66
検索した地点をすぐに本機に送信する	66
検索した地点を日時指定して本機に送信する	66
ランドマーク表示の設定をする	67
ガイドブック地点の設定をする	67
音声案内の音量を調整する	68
速度連動案内の設定をする	68
BLUETOOTHの設定をする	69
本機の機器名を変更する	69
本機のパスキーを変更する	70
OBD2設定について	70

AV・テレビ・Gアプリを楽しむ P.71

AVモードの基本操作	71
操作したいAVモードに切り換える	71
AVモードを終了する	71
音量調整する	72
AV同時動作について	73
テレビ(ワンセグ)について	74
視聴エリアを変更する	76
選局する	77
チャンネルリストを確認／選局する	77
音楽／動画／画像について	78
Gアプリについて	80

My ストッカーを使う P.81

My ストッカー／SDメモリーカードにコピーする… 81

カメラユニットを利用する P.82

microSDHCメモリーカードをフォーマットする	82
カメラユニットの設置確認をする	83
カメラユニットの画質調整をする	83
カメラユニットを設定する	84
自動撮影について	84
手動撮影する	85
手動撮影の設定をする	85
カメラユニットで撮影した記録ファイルを再生する	86
記録ファイルを保存フォルダへ移動／削除する	87

システム設定をする P.88

システム設定画面を表示する	88
セキュリティコードについて	89
セキュリティコードを設定する	89
セキュリティコードを解除する	89
お買い上げ時の状態に戻す(初期化)	90
出荷状態に戻す／自律航法学習結果の 初期化について	90
バージョン情報を見る	91
地図更新について	91
“道路マップ無料更新”権を利用して 地図の道路情報を更新する(Web 地図更新)	91
バージョンアップキットで 地図の全データを更新する(年度更新)	91
リヤビューカメラ／ビデオ映像を表示する	92
リヤビューカメラを接続する	92
ビデオカメラなどを接続する	92
映像入力設定と表示について	93
リヤビューカメラ／ビデオ映像の画質調整をする	94
リヤビューカメラ映像の目安線を表示する	94
リヤビューカメラ映像の目安線を調整する	95

困ったとき P.96

故障かな!?	96
こんなメッセージが出たときは	104

必要なとき P.109

本機を廃棄するときのお願い	109
電池のリサイクルについて	109
リサイクル協力店について	109
電池を取り出す前に	109
内蔵電池の取り外しかた	109
地図ソフトについて	111
BLUETOOTHについて	115
VICSについて	116
商標などについて	118
仕様	120
保証とアフターサービス	122

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

内蔵電池に関するご注意



危険



本機は充電式電池を内蔵しています

- 廃棄時以外は、分解しない
 - 他の機器で使用したり、充電をしない
 - 火の中へ投入、加熱をしない
 - 火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない
- 発熱、発火、破裂の原因となります。

次の安全上のご注意は、廃棄時取り出した内蔵電池に適用されます。



本機に内蔵している電池は本機専用です

- 他の機器で使用したり、充電をしない
 - 火の中へ投入、加熱をしない
 - 水などの液体への投入をしない
 - クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない
 - ⊕と⊖を金属などで接触させない
 - ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない
 - 火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない
- 発熱、発火、破裂の原因となります。

- 取り出した電池は、必ずコネクタの金属端子部をテープなどで絶縁して、リサイクル協力店へお持ちください。

内蔵電池に関するご注意

警告



電池の液が漏れたときは、以下の処置をする

皮膚や衣服に付いたときは、きれいな水でよく洗い流してください。
万一、液が目に入ったときは失明のおそれがあります。きれいな水でよく洗い流したあと、すぐに医師にご相談ください。

ACアダプター(別売)に関するご注意

危険



必ず、指定のACアダプターを使用する

指定以外のACアダプターを使用すると、火災や感電、故障、内蔵電池の発熱、発火、破裂の原因となります。

警告



電源プラグに付いたほこりや汚れを取り除き、根元まで確実に差し込む
感電や発熱による火災の原因となります。

- とくとき乾いた布で拭き、ほこりや汚れを取り除いてください。
- 傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。



コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。



ぬれた手で抜き差ししない

感電の原因となります。

ぬれ手禁止

注意



ACアダプターの本体部分を持ってコンセントから抜く

コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

ACアダプター(別売)に関するご注意



注意



通電中のACアダプターに長時間直接触れて使用しない
低温やけどの原因となることがあります。

座布団やタオル等でくるんだり上に物を置いたりしない
ACアダプターが異常に発熱し、故障や火災の原因となります。

著しく温度が高くなる場所*に置かない
故障や火災の原因となることがあります。

※直射日光のあたるところ、アイロンや暖房器具の近くなど

取り付けや配線をするとき



警告



シガーライターコード(12 V/24 V車対応)は⊖アース車専用です
⊕アース車には使用できません。火災や故障の原因となります。

VICS用アンテナ、車載用吸盤スタンドおよびナビゲーション本体は、保安基準に従って取り付ける
視界不良による事故の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする

作業は手順どおりに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。
作業が困難な場合は、お買い上げの販売店(専門業者)にご依頼ください。

シガーライタープラグは確実に差し込む

感電や発熱による火災などの原因となります。

シガーライターソケットは、定期的に点検・清掃する

ソケットの中にタバコの灰などの異物が入ると、接触不良により発熱し、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品*の動作確認をする

正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。

※ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど

車載用吸盤スタンドがぬれたり、水が入ったりしないように注意する
ダッシュボードから落下し、交通事故やけがの原因となります。

警告



視界や運転を妨げる場所※、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない

交通事故やけがの原因となります。

※ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など

車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしない

カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。

車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグでナビゲーションや部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けに、車の保安部品※を使わない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

※ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

シガーライターソケットまたはアクセサリ用電源ソケットから複数の電源をとらない

複数の機器を接続すると、車両の定格を超えることがあり、火災や感電、故障、車両側ヒューズの断線などの原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。

万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

コードを破損しない

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように配線してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。



分解禁止

分解や改造をしない

(廃棄時に充電式電池を取り出すための分解は除く)

特に、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。

交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

シガーライターコードをはさみやカッターなどで切ったり被覆をはがしたりしない

火災や感電、故障の原因となります。

取り付けや配線をするとき

 警告

ぬれ手禁止

ぬれた手でシガーライタープラグの抜き差しはしない
感電の原因となります。

 注意**必ず、付属品や指定の部品を使用する**

機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

車載用吸盤スタンドおよびナビゲーション本体は確実に取り付ける
走行中に外れる・落下するなど、交通事故やけがの原因となります。

- 設置面の汚れ・ワックスなどを拭き取り、スタンドを取付用シートの上に確実に取り付けてください。
- スタンドの落下を防ぐために付属のスタンド用ストラップをご使用ください。
- 車載時は、必ずナビゲーション本体をスタンドに固定してご使用ください。
また、しっかりと取り付けられていることを確認してください。

取付用シートをダッシュボードからはがす場合は、ゆっくりと、慎重にはがす

強力な粘着テープを使用しているため、無理にはがすと貼付面を傷める可能性があります。

板金やエッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する
断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

**高温になる場所※に取り付けない**

火災や故障の原因となります。

※ヒーターの熱風などが直接あたるところなど

振動や傾きのある不安定な場所には、取り付けない

走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けけない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となります。

取付用シートを貼り付ける場所の表面が柔らかい材質・本皮・木製パネル・布張りなどの場合は、貼り付けない

表面仕上げを傷める場合があります。

カメラユニットやナビゲーション本体のカメラユニット専用端子とパソコンなどの機器を接続しない

パソコンなどの機器に接続した場合、故障の原因となります。

警告



ルート案内中でも、常に、実際の交通規制に従う
交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。
ヒューズ交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に依頼してください。

医療用電気機器などへの影響を確認する
また、病院や航空機内など、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電気機器^{*}の近くでは、電源を切る

電気機器や医療用電気機器が誤作動するなどの影響を与える場合があります。
病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。

- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着した方がいる可能性があるので、電源を切ってください。
- 心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。

※心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など

自動車で使用する場合は、必ず付属のシガーライターコードをナビゲーション本体に接続し、付属の吸盤スタンドに装着して使用する

ナビゲーションの性能を発揮できず、事故やけがの原因となります。



本機を自動車および歩行時以外^{*}には、使用しない

ナビゲーションの性能を発揮できず、事故やけが、火災、故障の原因となります。

- 本機のルート案内は自動車専用のもので、歩行時には参考としてご使用ください。
- ※船舶・航空機・自転車・バイクなど

運転中や歩行中に操作したり、画像や表示を注視しない

交通事故やけがの原因となります。

車載時は、必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。

歩行時は、必ず安全な場所に立ち止まってご使用ください。

故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

カード類は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

警告



屋外で使用する場合には、雨水・海水などがかかる場所やほこりの多い場所で使用しない

本機は防水・防塵構造ではありません。
火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。
飲み物などがかからないようにご注意ください。

シガーライタープラグに水などをかけない

ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙、発火、感電の原因となります。
飲み物などがかからないようにご注意ください。

通電中のナビゲーション本体に長時間直接触れて使用しない

低温やけどの原因となることがあります。
手に持って長時間使用しないでください。

大きな音量で使用しない

周囲の音が聞こえないことによる交通事故の原因となります。

運転中や歩行中、周囲の音が聞こえないと危険な場所※でヘッドホンを使わない

交通事故の原因となります。密閉型(周囲の音が聞こえにくくなるタイプ)は、使用しないでください。

※踏切や横断歩道、駅のホーム、車道、工事現場など

ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力が損なわれる原因となります。



雷が鳴りだしたら、本機に触らない

落雷による感電のおそれがあります。

接触禁止

注意



ナビゲーション本体と車載用吸盤スタンドの温度を確認してから着脱や角度調整をする

高温環境での放置(直射日光などが長時間あたっていた場合)や連続使用した場合などは、スタンドなどが高温になり、やけどをするおそれがあります。

ヘッドホン接続前に音量を下げる

音量を上げすぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因となることがあります。

音量は少しずつ上げてご使用ください。

取り付け状態を定期的に点検する

走行中に外れる・落下するなど、交通事故やけがの原因となります。
スタンドやスタンド用ストラップにゆるみがないか確認してください。



**本機の上に重いものを載せたり、乗ったりしない
落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない**
故障や火災の原因となります。

ワンセグ用ロッドアンテナに目や顔を近づけない／人に向けない
アンテナの先端に接触して、事故やけがの原因となります。
アンテナを伸ばして使用するときは、周囲に十分に注意してください。

異常発生時やお問い合わせは

まず、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。

- お客様による修理は、絶対におやめください。

使用上のお願い

●お買い上げ時や、長時間で使用にならなかったときの内蔵電池の残量について

- お買い上げ時は、内蔵電池が十分に充電されていませんので、充電してからご使用ください。
また、長時間で使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。[P.37]
- お買い上げ時、内蔵電池が十分に充電されていない状態では、自転車位置情報(GPS衛星データ)が保持されず、次回起動時に現在地(自転車)マークが東京駅周辺を表示する場合があります。
(お買い上げ時はシガーライターコードまたはACアダプター(別売)を接続し、目安として1時間程度充電しながらご使用ください。)

●内蔵電池の使用について

- ルート探索／登録地点情報の書き出し、書き替え／Myストッカー／Gアプリなどの操作を行う場合は必ず内蔵電池を満充電にし、内蔵電池の残量に注意しながら操作してください。動作中に内蔵電池の残量がなくなると、大切なデータが壊れる場合があります。
- ルート案内はシガーライターコードまたはACアダプター(別売)を使用してください。
- 内蔵電池の残量がなくなると、自転車位置情報(GPS衛星データ)が保持されません。内蔵電池の充電は定期的に行ってください。

●使用中に発生する熱について

- 長時間で使用になると本機が熱くなりますが、異常ではありません。

●温度について

- 推奨動作温度(0℃～+50℃、ACアダプター(別売)使用時は0℃～+40℃)の範囲外の場合で使用すると、正常に動作しない場合や、本機の故障を防ぐために自動的に電源が切れる場合があります。この場合、主電源スイッチを切り、推奨動作温度の場所で再度主電源スイッチを入れてください。
- 充電は必ず+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。

●車内で使用するときのお願い

- 安全のため、走行中は本機の機能・操作が一部制限されます。
必ず安全な場所に停車してご使用ください。(テレビ(ワンセグ)・動画再生は、走行中には映像が表示されず、音声のみとなります。)
- 本機は車速感应タイプ走行規制で走行／停車判定を行うため、GPS未受信時、低速走行時、発進と停止を繰り返したときなどは、正しく判定できない場合があります。走行中でも操作や映像視聴ができなくなることがありますが、操作したり映像や表示を注視しないでください。また、停車中でも一部の操作ができなかったり、映像視聴できない場合があります。
- シガーライター電源で使用するときは、エンジンをかけてご使用ください。
エンジンを止めて長時間使用すると、バッテリーが消耗します。
(アイドリングが禁止の地域もありますので、地域の条例に従ってください。)

●使用場所について

- 本機の内部に熱がこもるため、ふとんやじゅうたん、カーペット、座布団など熱をにがしにくいものの上に置いて長時間使用しないでください。
- 本体の塗料がはがれるため、ウレタン系シートやゴム系シート、ビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

●カメラユニットの使用について

- 付属のカメラユニットのみでは使用できません。必ずカメラユニットにmicroSDHCメモリーカードを挿入し、ナビゲーション本体に取り付けてからご使用ください。
- 本機は衝撃を検知して映像を記録する装置ではありません。
- 自動撮影時は常に記録を繰り返しますが、全ての状況において撮影した映像を保証するものではありません。
- カメラユニットで撮影した映像は、事故などの証拠として効力を保証するものではありません。
- LED式信号機などを撮影すると、点滅して表示されたり、色の識別ができない場合があります。
- 推奨動作温度(0℃～+50℃)の範囲外で使用すると、映像が黄色く表示されるなど、正常に動作しなかったり、撮影を停止する場合がありますので、推奨動作温度の範囲でご使用ください。
- 冷暖房を入れた直後など、結露でカメラユニットのレンズがくもる場合があります。
- カメラユニットのレンズを手で触らないでください。
- 音声を録音することはできません。

●液晶ディスプレイについて

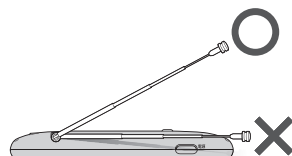
- 先端が固いもの(ボールペン、ピン、爪の先など)は使わず、必ず指で触れて操作してください。また指でたいたり、強く押さないでください。傷、破損、誤動作の原因となります。
- 液晶の保護シートを使用すると、正常に動作しないおそれがあります。
- 内部照明装置(バックライト)が暗くなる場合がありますが、本体の温度が下がると元に戻ります。
- 車から離れるとき(本機を使用しないとき)は、本機に直射日光が当たらないように、車のサンシェードなどをお使いください。
- 低温になると、映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きに違和感がある、画質が劣化したりすることがあります。
- 冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面がくもったり、露(水滴)で、正しく動作しないことがあります。約1時間放置してからご使用ください。
- 液晶ディスプレイの画素は、99.99%の精度で管理されていますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。そのため、黒い点が現れたり、赤・緑・青の点が常時点灯する場合がありますが、故障ではありません。

●お手入れについて

- ナビゲーション本体は、電源を切り、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 液晶ディスプレイは、市販のクリーニングクロスで拭いてください。
- ベンジンやシンナー類、マニキュア除去液、アルコール類などは使用しないでください。(塗装が変質するおそれがあります)
- 化学ぞうきんは、注意書きに従って、お使いください。

●GPSアンテナ(本体の上面に内蔵)について

- 本体の上面にペンキなどを塗ったり、シールや紙などを貼らないでください。GPS衛星電波を受信できなくなることがあります。
- 本体の上面にワンセグ用ロッドアンテナや、動作中の他の電気製品(テレビ、ラジオ、パソコンなど)を近づけないようにしてください。GPS衛星電波を受信できなくなることがあります。



●磁気について

- 本機に磁気を帯びたものを近づけないでください。誤動作を引き起こす可能性があります。
- 磁気カード(キャッシュカードなど)を本機に近づけないでください。磁気データが消えてしまうことがあります。

●受信妨害について

- 本機は強い電波を送受信する機器(ETC車載器、DSRC車載器、無線機、レーダー探知機など)からなるべく離れた場所に取り付けてください。また、携帯電話は、なるべく本機から離してご使用ください。これらの機器の近くで本機を使用すると、下記のようなことが起こる場合があります。
 - ・本機の映像や音声 that 乱れる
 - ・現在地を正しく表示できない
 - ・テレビ(ワンセグ)が受信しづらくなる
 - ・本機の近くで使用している機器(上記など)が正常に動作しない
- 動作中のテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで、本機を使用しないでください。本機のテレビ(ワンセグ)やGPS衛星電波の受信状態が悪くなったり、テレビ、ラジオなどの受信状態が悪くなる場合があります。

●ご使用にならないときは

- 極度な高温・低温になる場所に放置しないでください。夏季の閉め切った車内、長時間直射日光や暖房器具の熱が直接あたるところ、極端な低温になるところに放置すると、変形・変色・故障の原因となります。
- 使用しないときは、必ず電源を切って常温の場所に保管してください。

●持ち運ぶとき／収納するときは

- 液晶ディスプレイを持たないでください。
- 付属のカメラユニットを取り外してください。
- ワンセグ用ロッドアンテナは収納し、接続している機器やコード類などを取り外してください。
- 持ち運びの際は、必ず電源を切ってください。
音楽を聞きながら持ち運ぶときは、画面消しにしてください。
- 液晶ディスプレイ破損を防止するため、下記の点に気を付けてください。
 - ・ズボンのポケットに入れたまま座らない
 - ・かばんの底など、無理な力が加わるところに入れない
 - ・ストラップなどのアクセサリや鍵などの金属や硬いものがあたらないようにする

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。

特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのもひとつの方法です。



ワンセグ放送の受信について

- 受信状態が悪くなると、映像のブロックノイズや音声の途切れ、静止画面や黒画面となり音声がなくなることがあります。
- 固定して使用する家庭用と異なり、車の場所や方向、速度などにより受信状態も変化します。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などを近づけると、映像が乱れたり音声が途切れたりする場合があります。本機から離してご使用ください。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 本機の仕様は、ARIB(電波産業会)規格に基づいています。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。

著作権などについて

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 撮影した映像や画像は、個人で楽しむ以外は、権利者に無断で使用できません。
個人使用目的でも撮影が制限されている場合があります。
- 本機を利用して、本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律・条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。
- 本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。

はじめに

免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機のナビゲーション機能および地図データは、道路上での使用を前提に作られています。船舶や航空機の航行補助装置や登山用の地図など、本来の使いかたから逸脱した使用により生じた損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。
- 本機を観光やガイドなどの業務目的に使用した場合の保証はできません。
- プライバシー保護のため、登録または記録した個人情報(登録地点の位置や電話番号など)は、お客様の責任において取り扱いや管理を行ってください。当社は一切の責任を負いかねます。
- 次の場合、補償はできません。
 - ・ 誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
 - ・ 誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報が変化・消失した場合

- 大切な情報(登録地点など)は、万一に備えてメモなどをとっておくことをおすすめします。
- 説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、当社は責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取り扱わなかった場合や通常の使用目的から逸脱した使い方をされた場合などは保証の対象外となりますので正しくご使用ください。

ナビゲーションシステムについて

現在地の測位について

本機ではGPS、準天頂衛星システム「みちびき」、グロナスの3衛星を利用して現在地測位を行います。

●GPS(Global Positioning System)

アメリカ国防総省によって運用されている衛星測位システムです。

●準天頂衛星システム「みちびき」

宇宙航空研究開発機構(JAXA)によって打ち上げられた、日本の準天頂衛星システムの初号機です。

※現在、準天頂衛星システムは電波を受信できる時間帯が限られます。

●グロナス(GLONASS : Global Navigation Satellite System)

ロシア宇宙軍によって運用されている衛星測位システムです。

※衛星側の技術的トラブルや運営機関の事情により、精度が落ちたり電波を利用できなくなることがあります。

※本書では特にことわりのない限り、上記衛星を利用する機能や受信する電波を「GPS情報」「GPS衛星電波」など総称して表記しています。

現在地を測位するまでの時間

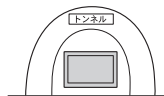
本機をお買い上げ後、初めてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15～20分程度かかることがあります。

見晴らしの良い場所をしばらく走行し、現在地周辺の地図が表示されていることを確認してください。

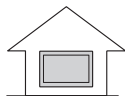
現在地の測位ができない環境について

次のような環境では、GPS衛星電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。

●トンネルの中



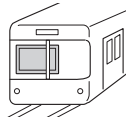
●建物の中



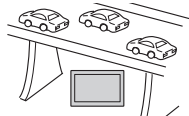
●樹木の間



●自動車以外の乗り物の中



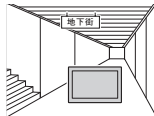
●高速道路の下



●高層ビルなどの間



●地下街



●曇り／雨などの悪天候



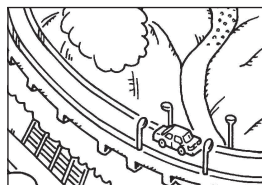
※同じ場所でも、次のような理由でGPS衛星の受信数が変動します。

- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星電波の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の機器(ETC車載器、DSRC車載器、無線機、レーダー探知機など)の妨害、または一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより電波がさえぎられ受信感度が悪化したり受信しなくなることがあるため。

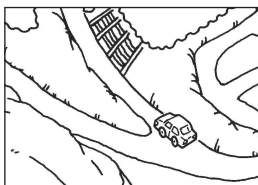
現在地(自車)マークのずれについて

現在地(自車)マークの位置や進行方向は、下記のような走行条件などでずれることがあります。GPS衛星電波をさえぎる障害物がない見晴らしの良い場所を、しばらく走行すると現在地の位置が補正され、正常に使用することができます。

- 直線や緩やかなカーブの長距離走行



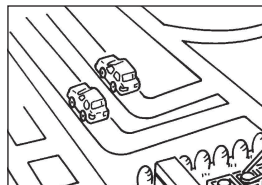
- 緩やかなY字路の走行



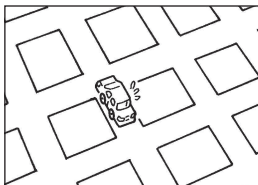
- S字の連続する道路の走行



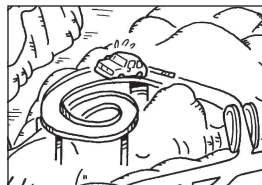
- 近くに似た形状の道路がある所の走行



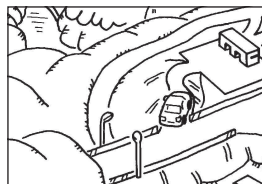
- 碁盤目状の道路の走行



- ループ橋などの走行



- 地図画面に表示されない道路、新設された道路、形状が変わった道路などの走行



お知らせ

- エンジンをかけてすぐ走行した場合も、現在地(自車)マークの向きがずれることがあります。
- 現在地(自車)マークの位置／方向を手動で修正することもできます。

クイックGPSについて

本機が過去に受信したGPS衛星データを用いて現在のGPS衛星位置を予測することにより、GPS衛星を捕捉しやすくし、起動時の捕捉までの時間も早めます。

前回のGPS衛星電波受信後から6日以上経過している場合には機能しません。また、前回GPS衛星電波を受信した状況と起動時の状況の違いによっては、機能しない場合があります。

自律航法(Gジャイロ)とマップマッチングについて

GPS衛星電波を受信しにくい高架下やトンネルなどでも、本機に搭載のジャイロセンサーと加速度センサーを利用した自律航法で現在地を補正します。現在地が道路以外(例えば川の中など)になった場合は、マップマッチングで誤差を補正し、近くの道路の上に現在地を表示します。

- 自律航法は車動作時のみ機能します。
- 自律航法は、GPS衛星電波を受信してしばらく走行し、センサー学習をしてから動作を始めます。
- 自律航法動作時でも、GPS衛星電波を受信できない状態が長く続くと、自車位置に誤差が生じる場合があります。

カメラユニットを取り付ける

付属のカメラユニットをナビゲーション本体に取り付けます。

お願い カメラユニットを取り付け／取り外しする場合は、ナビゲーション本体の主電源スイッチを必ず「切」にしてください。

※撮影するにはmicroSDHCメモリーカードが必要です。付属のmicroSDHCメモリーカードをカメラユニットに挿入し、本機でフォーマットを行ってからご使用ください。[P.82]

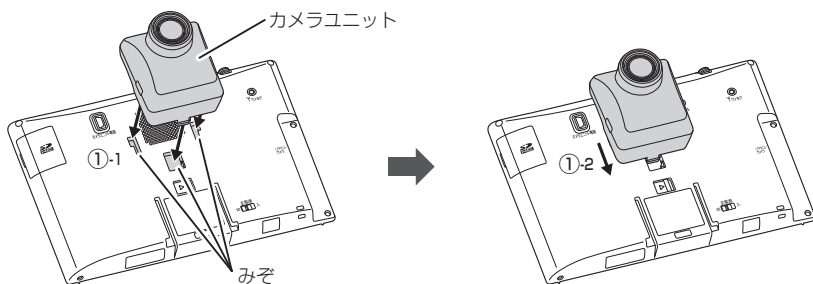
はじめに

カメラユニットの取り付けかた

1

カメラユニットをナビゲーション本体に取り付ける。

- ① カメラユニットのツメをナビゲーション本体のみぞに入れ、“カチッ”と音がするまで下向きにスライドさせる。

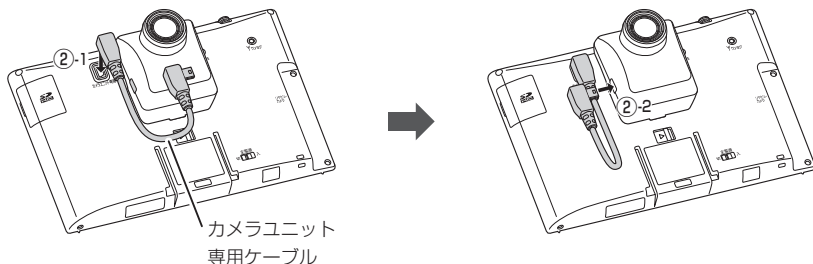


- ② 付属のカメラユニット専用ケーブルをナビゲーション本体側のカメラユニット専用端子に接続し、カメラユニット側のカメラユニット専用端子に接続する。

※カメラユニット専用端子の形状や向きに注意して、下記イラストのように取り付けてください。

※カメラユニット専用ケーブルのコネクタは両端同じ形状ですのでどちら側でも接続することができます。

※付属のカメラユニット専用ケーブル以外は絶対に接続しないでください。

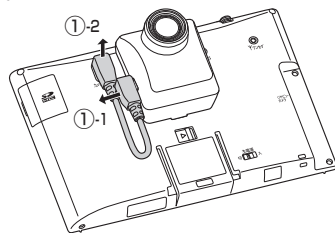


カメラユニットの取り外しかた

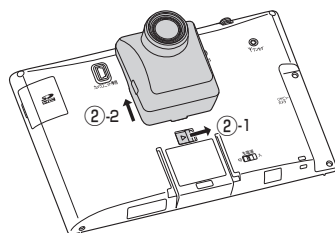
1 カメラユニットをナビゲーション本体から取り外す。

① 付属のカメラユニット専用ケーブルを取り外す。

※カメラユニット側から先に取り外してください。



② カメラユニットロックレバーを右側にスライドさせながらカメラユニットを上向きにスライドさせる。



③ カメラユニットをナビゲーション本体から取り外す。

microSDHC メモリーカードをカメラユニットに挿入する／取り出す

※カメラユニットをナビゲーション本体に取り付けているときは、必ずナビゲーション本体の電源を切った状態で、microSDHC メモリーカードの抜き差しを行ってください。

■ 挿入する場合

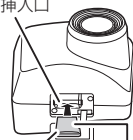
① カメラユニットのmicroSDHC メモリーカード挿入口カバーを開け、microSDHC メモリーカード挿入口にmicroSDHC メモリーカードを挿入する。

※矢印の方向に“カチッ”と音がするまで差し込んでください。

※ microSDHC メモリーカードを挿入した後は、microSDHC メモリーカード挿入口カバーをしっかりと閉めてください。

microSDHC メモリー
カード挿入口カバー

microSDHC メモリー
カード挿入口



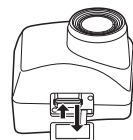
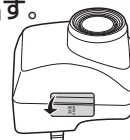
microSDHC メモリーカード

印字面

■ 取り出す場合

① microSDHC メモリーカード挿入口カバーを開け、microSDHC メモリーカードを1回押してから取り出す。

※ microSDHC メモリーカードを取り出した後は、microSDHC メモリーカード挿入口カバーをしっかりと閉めてください。



車に吸盤スタンドを取り付ける

付属の吸盤スタンドを車に取り付けます。

※作業が困難な場合は、お買い上げの販売店(専門業者)にご依頼ください。

(作業工賃が発生した場合は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。)

ナビゲーションの取り付け位置について

国土交通省の定める保安基準*に適合させるため、下部イラストのように、運転者の視界を妨げないように取り付けてください。また、前面ガラスおよび側面ガラス(運転者席の左右)への取り付けは、保安基準第29条に不適合となりますので、絶対におやめください。

*印…道路運送車両の保安基準 第21条(運転者席)

道路運送車両の保安基準 第44条(後写鏡等)

最新の保安基準は、国土交通省のWebサイトをご確認ください。

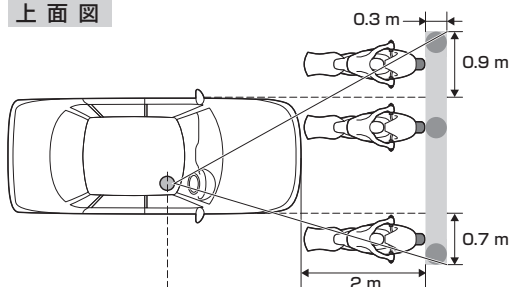
前方視界について

基準概要

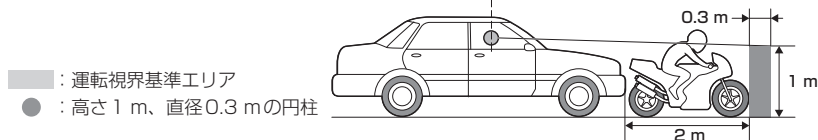
自動車の前方2 mにある高さ1 m、直径0.3 mの円柱(6歳児を模したものを鏡等を用いず直接確認できること。

- 図は右ハンドル車の例です。
左ハンドルの場合は、左右逆になります。

上面図



側面図



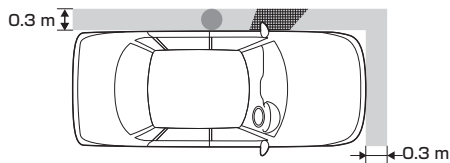
■ : 運転視界基準エリア
● : 高さ1 m、直径0.3 mの円柱

直前直左視界について

基準概要

自動車の前面及び左側面(左ハンドル車にあっては右側面)に接する高さ1 m、直径0.3 mの円柱(6歳児を模したものを)を直接に又は鏡、画像等により間接に視認できること。

- 図は右ハンドル車の例です。
左ハンドルの場合は、左右逆になります。



■ : 運転視界基準エリア
● : 高さ1 m、直径0.3 mの円柱
■ : 適用外エリア
(Aピラーまたは室外後写鏡により視界が遮られるエリア)

取り付け上のお願ひ

- 吸盤スタンドを取り付ける前に、取り付ける位置を決め、取り付け場所でナビゲーション本体がGPS衛星電波やワンセグを受信できるかどうか確認してください。
- 必ず指定の吸盤スタンドを使用してください。
- フロントガラスには取り付けないでください。
- 吸盤スタンドや取付用シートなどの貼り付け場所は必ず付属のクリーナーできれいに拭き、ほこりや油分などを取り除いて完全に乾燥させてから貼り付けてください。
※車によってはクリーナーでダッシュボードが変色する場合があります。あらかじめ目立たない部分で試してからご使用ください。変色した場合は、付属のクリーナーを使用せず、水にひたした布(毛羽立たない素材など)を固くしぼって拭いてください。
※ベンジンやシンナー類などは使用しないでください。
- 取付用シートなど粘着テープを使用する付属品は貼りなおさないでください。
- 運転前は、吸盤が確実に吸着していることを確認してください。

説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、当社は責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取り扱わなかった場合や、通常の使用目的から逸脱した使い方をされた場合などは保証の対象外となりますので正しくご使用ください。

取り付ける前に

- エアバッグが装着されている車両に取り付ける場合は、絶対にエアバッグのカバー部分および作動時の妨げになる場所には取り付けないでください。
(取り付け位置の安全性を考慮し、お買い上げの販売店(専門業者)にご相談の上、取り付け位置を決めてください。)
- 吸盤スタンドおよび取付用シートの貼り付け位置はダッシュボード上の凹凸のない平らな面をお選びください。また、吸盤スタンドをダッシュボード上に軽く置いたときに吸盤の外周がダッシュボードと均等に密着し、すき間がないことを確認してください。
- 下記のような場所には絶対に取り付けないでください。吸盤スタンドが外れ落下するおそれがあります。



取り付け面が密着しない曲面	傾いた面	不安定な面	垂直な面

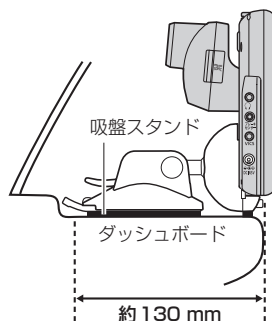
取り付け角度・寸法について

ナビゲーション本体の取り付けには、下記の角度および取り付けスペースを参考にしてください。

取り付け角度



取り付けスペース



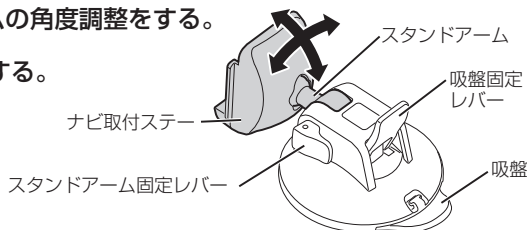
※付属の吸盤スタンドを使用して、ナビゲーション本体をしっかりと固定してください。

※自律航法の誤差を少なくするため前後左右の角度は20°以内で調整してください。

吸盤スタンドの取り付けかた

1 ナビ取付ステーとスタンドアームの角度調整をする。

① ナビ取付ステーの角度を調整する。



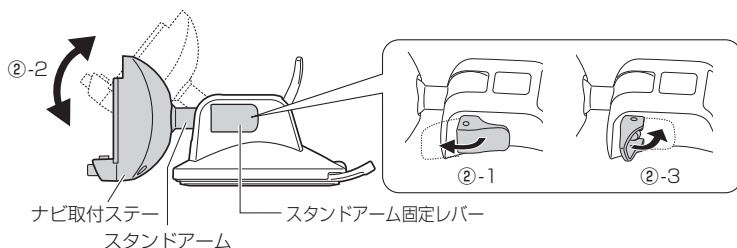
お願い

ナビ取付ステーはスタンドアームに対して自由な方向に動かせます。動きが固すぎる／固定具合が弱すぎる場合は、右記のように正面のねじをドライバーなどの工具で調整してください。

※ナビゲーション本体を取り付けて使用中、ゆるまな程度に動きが固めの状態にしてください。



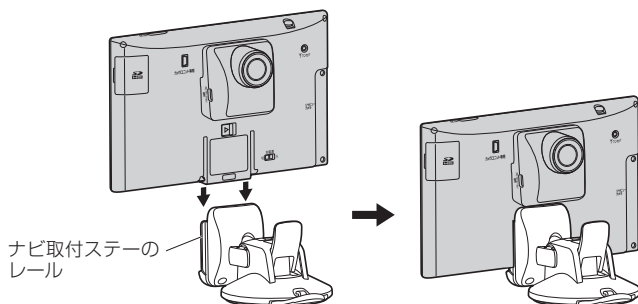
② スタンドアーム固定レバーをを起こして、スタンドアームとナビ取付ステーの上下位置を調整し、スタンドアーム固定レバーを倒して固定する。



2

ナビ取付ステーにナビゲーション本体を取り付ける。

※ナビゲーション本体裏面のみぞをナビ取付ステーのレールに合わせて、“カチッ”と音がするまで入れてください。

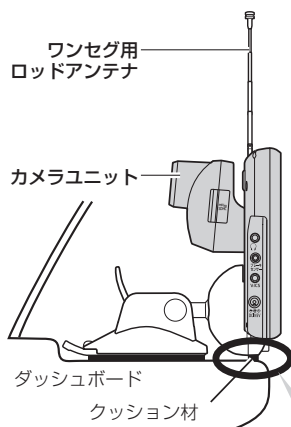


3

ダッシュボード上の見やすいところに取り付ける位置を決める。

※シガーライターコードを接続し、ナビゲーションを起動してカメラ映像を表示しながら、取り付ける位置を決めてください。【P.83】

※取り付け位置が決まったら、ナビ取付ステーからいったんナビゲーション本体を取り外してください。取り外しかたについては、【P.28】をご覧ください。



お願い

- カメラユニットがフロントガラスに当たらないようにしてください。
※吸盤スタンドの取り付け位置で、ナビゲーション本体の着脱を行ってもカメラユニットがフロントガラスに当たらないことも確認してください。
- ワンセグ用ロッドアンテナをまっすぐ上にのばしてフロントガラスに当たらないことを確認してください。

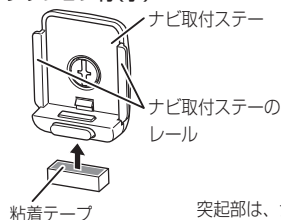
振動によるぐらつきやダッシュボードへの傷、カメラ映像のブレなどを防ぐため、ナビ取付ステーの底面に付属のクッション材(小/大のいずれか)を必ず貼り付けて、クッション材がダッシュボードに当たるように調整してください。

※振動でぐらついたり、カメラ映像がブレる場合は、クッション材(大)をご使用ください。

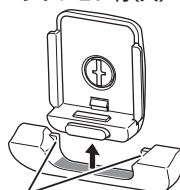
※ダッシュボードに強く当てすぎると吸盤が外れる場合があります。

粘着テープのはくり紙をはがし、ナビ取付ステーに貼り付けてください。

クッション材(小)



クッション材(大)

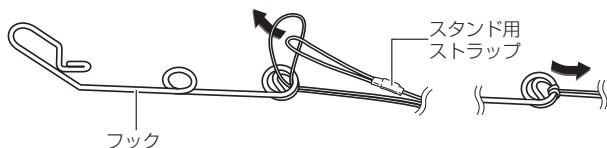


突起部は、ナビ取付ステーのレールの裏面に当たるようにしてください。

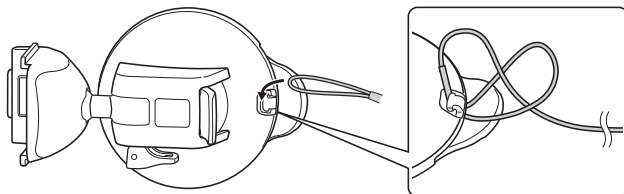
4

フックおよびスタンド用ストラップを取り付ける。

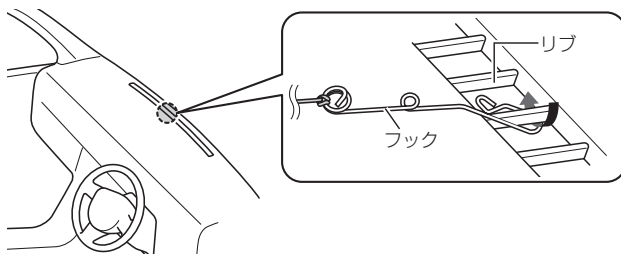
- ① フックにスタンド用ストラップを通し、結んで取り付ける。



- ② 吸盤スタンドにスタンド用ストラップを通し、結んで取り付ける。



- ③ フックを車のデフロスタ(フロントガラス下の送風口)のリップ部へ取り付ける。

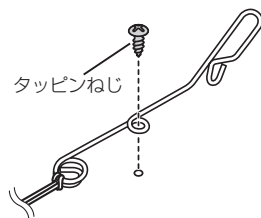


デフロスタへ取り付けできない場合は、付属のタッピンねじでフックを固定してください。

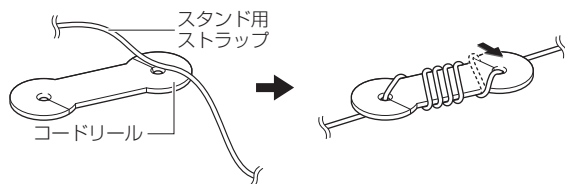
※ダッシュボードに穴があくことをご了承ください。

お願い

タッピンねじを取り付けるときに、ダッシュボードが割れたり、ダッシュボード内の配線などに干渉する可能性がありますので、お買い上げの販売店(専門業者)にご相談ください。



- ④ スタンド用ストラップをコードリールに巻き付け、スタンド用ストラップが緩まないように長さを調整する。



取付用シートを貼り付ける。

※ダッシュボードの材質や表面状態によっては、吸盤の吸着力が十分得られないことがありますので、必ず付属の取付用シートを使用してください。

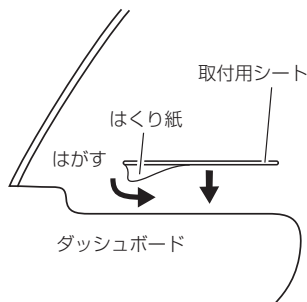
取付用シートを貼り付ける前に必ずお読みください。

- 取付用シートの貼り付け場所を付属のクリーナーできれいに拭いてください。
- 貼り付けは1回のみです。貼りなおしができないので慎重に取り付け場所を決めてください。
- 空気が入らないよう端から貼って、強く押し付けてください。
- 気温が低い(20℃以下)場合は粘着力が低下します。車内ヒーターで車内を暖めてから貼り付けてください。
- 貼り付け直後は粘着力が弱いので、必ず24時間以上、取付用シートのための状態で放置してください。

① 取り付け位置を付属のクリーナーできれいに拭き取り、完全に乾燥させる。

② 取付用シート裏面のはくり紙をはがし、
吸盤スタンドの取り付け位置に貼り付ける。

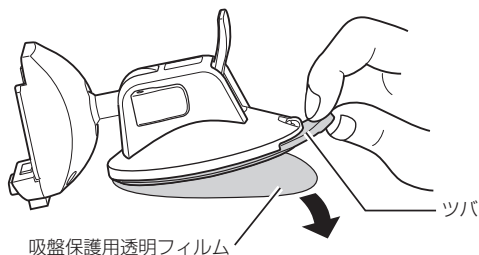
※取付用シートが浮かないよう粘着面全体を上からしっかりと押さえ、取付用シートの周囲にすき間がないように貼り付けてください。
粘着面全体が貼り付けされていない場合は、振動などで脱落するおそれがあります。



ダッシュボードに吸盤スタンドを取り付ける。

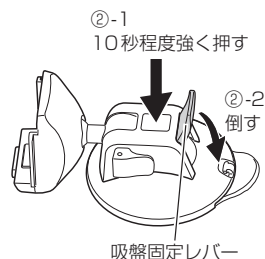
① 吸盤面に付いている吸盤保護用透明フィルムをはがす。

※すでに吸盤保護用透明フィルムをはがし、吸盤面に吸盤スタンド保護用シートを貼り付けている場合は、吸盤後方のツバ部分を持ち、ゆっくりと吸盤スタンド保護用シートをはがしてください。



② 吸盤をダッシュボードに10秒程度強く押しながら、吸盤固定レバーを倒し吸着させる。

※しっかりと吸着できているか、吸着スタンドに力を加えて確認してください。



お願い

- 吸着力を強くするため、10秒程度押し続けてください。
- 取付用シートを使用する場合は、吸盤面がはみ出さないようにしてください。
- 吸盤面が汚れると吸着力が低下しますので、定期的な清掃をおすすめします。毛羽立たない柔らかい布かスポンジに少量の水をふくませ、吸盤面の汚れを取り除くように拭き、完全に乾燥させてからご使用ください。
※水以外では拭かないでください。
- 吸盤スタンドを清掃するなどしても吸着力が弱いと感じる場合は、取り付ける位置を変更するか、取付用シートを貼り付けてから吸盤スタンドを取り付けてください。
[P.27 手順 5]
- 光沢面に吸盤スタンドを貼り付けると、吸着力が増してはがしにくくなる場合があります。光沢面に貼り付ける場合は、取付用シートをご使用ください。
[P.27 手順 5]

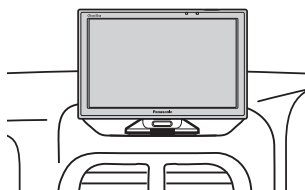
7 ナビゲーション本体を取り付ける。

※ [P.25 手順 2] を参考に、ナビゲーション本体をナビ取付ステーに取り付けてください。

※吸盤スタンドのスタンドアーム固定レバーはしっかり倒し
てください。固定が弱いと、車の振動などでレバーがゆる
み、ナビゲーション本体の取り付け角度が変わるおそれが
あります。

お願い

吸盤スタンド各部のゆるみ、吸盤が外れそうにな
っていないかなど、定期的に点検してください。



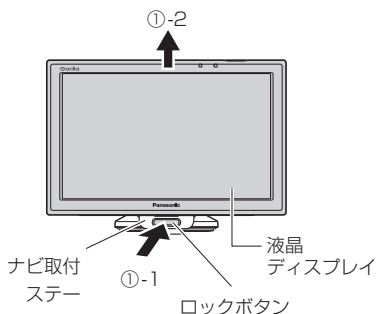
吸盤スタンドの取り外しかた

■ ナビゲーション本体をナビ取付ステーから外す場合

- ① ナビ取付ステーのロックボタンを押しながら
ナビゲーション本体を上向きに
スライドさせる。

お願い

液晶ディスプレイを持って、ナビゲーション本体
を取り付けたり、取り外したりしないでください。

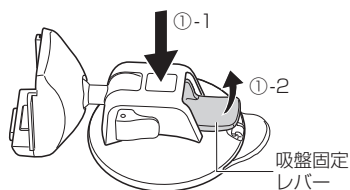


■ 吸盤スタンドをダッシュボードから外す場合

※吸盤スタンドを外す前に、吸盤スタンド後方に取り付けているスタンド用ストラップを外してください。

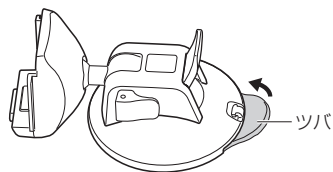
- ① 吸盤スタンドを押したまま吸盤固定レバーを持ち上げる。

お願い 吸盤固定レバーを持ち上げるときに、指をはさまないようにご注意ください。



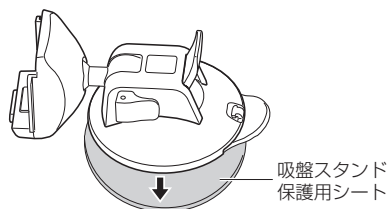
- ② 吸盤後方のツバ部分を持って吸盤スタンドを持ち上げゆっくりとはがす。

※吸盤スタンドを取り外すときに、使用環境により吸着力が強くなる場合がありますので、吸盤スタンドのツバをゆっくり持ち上げて取り外してください。



- ③ 吸盤スタンドを取り外した後、吸盤スタンド保護用シートに貼り付ける。

※取り外した後は吸盤面の汚れを取り除き、付属の吸盤スタンド保護用シートを取り付けて保管してください。



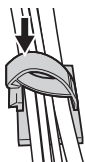
コードクリップの取り付け／取り外しかた

コードを束ねるときに付属のコードクリップを使用して束ねてください。

■ 取り付ける場合

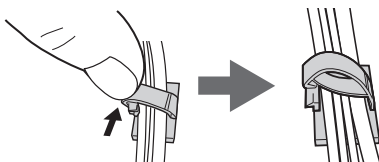
- ① コードをコードクリップに入れ、“カチッ”と音がするまで押してロックする。

※ロック後、コードクリップ裏面のはくり紙をはがし、貼り付けてください。



■ 取り外す場合

- ① 下記イラストのようにスライドさせて、ロックを解除する。



車に VICS アンテナを取り付ける

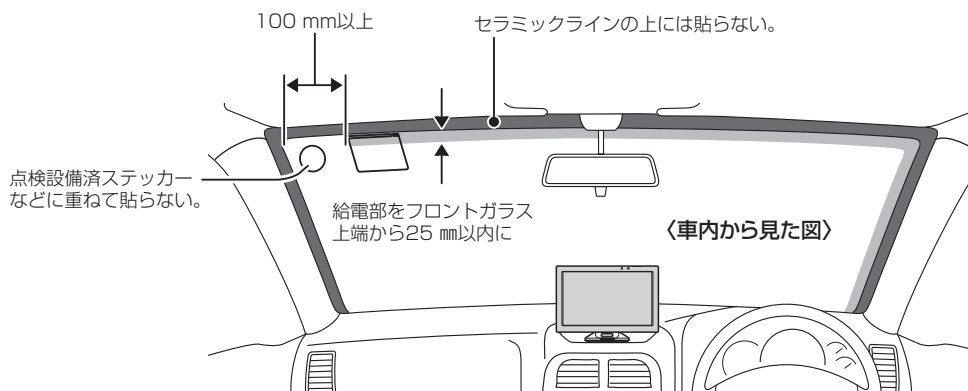
付属の VICS アンテナを車に取り付けます。

※作業が困難な場合は、お買い上げの販売店(専門業者)にご依頼ください。

(作業工賃が発生した場合は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。)

VICS アンテナの取り付け位置について

- 性能を十分発揮するために、必ず車室内の指定の位置に、正しい向きで貼り付けてください。
※指定の位置や寸法内に取り付けられない場合は、お買い上げの販売店(専門業者)にご相談ください。
※車載カメラ装置や電波を通さない熱反射ガラスなどが装備されている場合は、お買い上げの販売店(専門業者)にご相談ください。
- 国土交通省の定める保安基準*に適合させるため、アンテナの給電部は、取付許容範囲内(■部)に貼り付けてください。
*印…道路運送車両の保安基準 第29条(窓ガラス)、細目告示第39条および別添37
最新の保安基準は、国土交通省のWebサイトをご確認ください。



取り付け上のお願い

貼り付ける前に、付属のクリーナーで設置面(ガラス、ビラー)の汚れ(ごみ、油)などをきれいに拭き取り、はがれないようしっかり貼り付けてください。

※界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。

※設置面が完全に乾くまで、作業しないでください。

※気温が低いとき(20℃以下)は、車内ヒーターやデフロスタでガラスを温めてください。

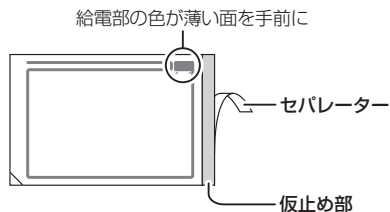
取り付ける前に

- サイドガラスやリアガラスには貼らないでください。十分な受信状態が得られません。
- アンテナを折り曲げないよう、お取り扱いにご注意ください。
- 仮止めして、貼り付ける位置や向きをご確認ください。(貼りなおせません)
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから100 mm以上離して貼り付けてください。

1 フロントガラスにアンテナを貼り付ける。

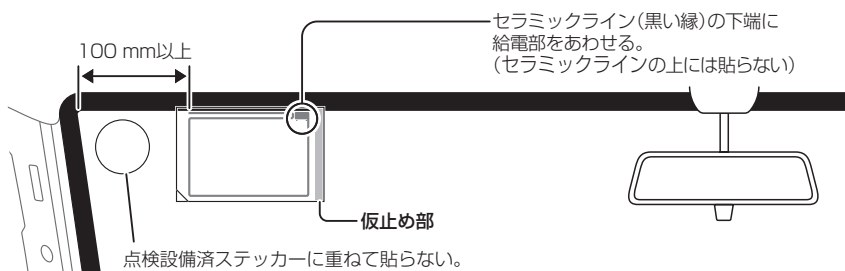
① 仮止め部のセパレーターをはがす。

※糊面に触れないでください。



② 貼り付ける位置を決めて、仮止め部をガラスに貼る。

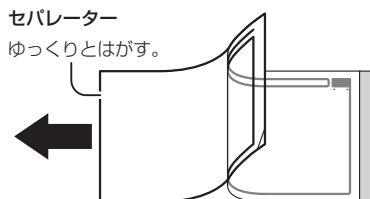
※貼り付ける位置からコードを引き回して、アース端子が正しく取り付けられるか、ナビゲーション本体へアンテナコードが届くかを確認してください。



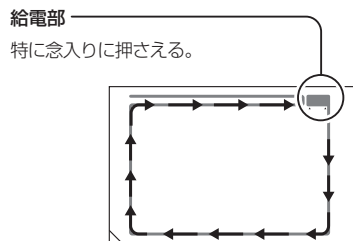
③ セパレーターをはがし、フィルムをガラスに貼り付ける。

※糊面に触れないでください。

※強く曲げる、急にはがす、引っ張るなどしないでください。断線する場合があります。

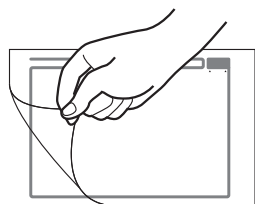


④ アンテナの上を指でこすり、ガラスに密着させる。



⑤ フィルムの左下の角を持ち、ゆっくりとはがす。

※アンテナがフィルム側に残る場合は、フィルムをもとに戻してアンテナ上をこすり、再度はがしてください。



2 アンテナコードを取り付ける。

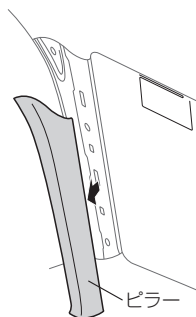
① ピラーのカバーを取り外す。

※ピラーにエアバッグが装備されている場合、取り付けできません。

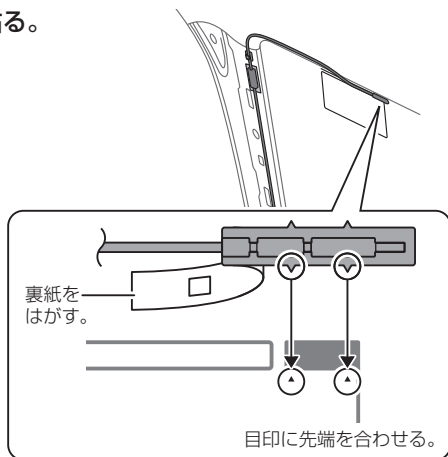
※ピラーのカバーの取り外しかたは、車種によって異なります。

詳しくは、車両メーカー・カーディーラーにご相談ください。

※作業が困難な場合は、お買い上げの販売店(専門業者)にご依頼ください。



② コードの端子をアンテナの給電部に貼る。



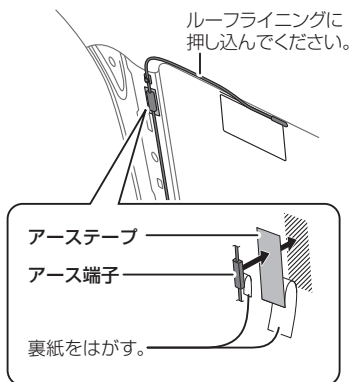
③ アース端子を金属部(塗装面)に貼り付けて、コードを引き回す。

※必ずアース端子を正しく貼り付けてください。

VICSの受信感度が低下する場合があります。

※必ずアーステープをアース端子と金属部の間に貼ってください。

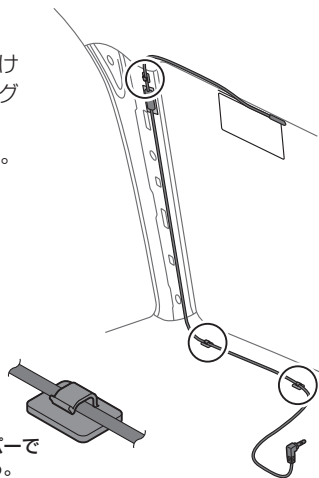
※金属部の塗装をヤスリなどではがす必要はありません。



④ コードを引き回す。

※シガーライターコードなど、他のコードからできるだけ離してください。また、束ねたり交差させたりワンセグ用ロッドアンテナに巻きつけたりしないでください。VICSやワンセグの受信感度が低下する場合があります。

コードクランパーで
要所を固定する。

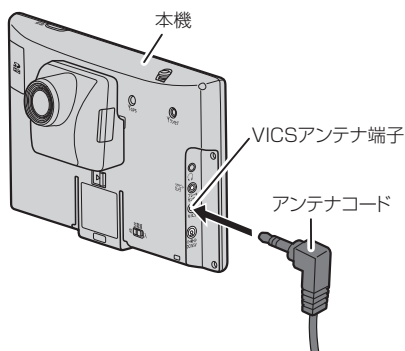


はじめに

3

アンテナコードを本機のVICSアンテナ端子へ接続する。

※取り付けが終わったら、ピラーのカバーをもとに戻してください。



動作の種類と走行中の制限について

動作の種類について

本機では電源の種類や、付属の吸盤スタンドの取り付け状態によって、車動作・家庭動作・電池動作と変わります。

電源の種類 付属の吸盤スタンド	シガーライターコード	ACアダプター (別売)	内蔵電池
装着時	車動作*	車動作*	電池動作
未装着時	家庭動作	家庭動作	電池動作

*印…車動作中に付属の吸盤スタンドを取り外しても家庭動作に変わりません。

家庭動作にするには、付属の吸盤スタンドを取り外した状態で本機の電源を切り、再度電源を入れてください。

制限される主な機能

動作の種類(車動作・家庭動作・電池動作)や走行/停車判定によって、下記のように機能が制限されます。

動作の種類	車動作		家庭動作	電池動作*1
	停車中	走行中		
ヘッドホン接続時の音声出力	○	×	○	○*2
各メニュー操作	○	×	○	○*2
地図スクロール	○	×	○	○*2
道幅 3 m未満の細街路表示	○	×	○*3	○*3
自律航法(Gジャイロ)	○	○	×	×
マップマッチング	○	○	○	○
音声案内	○	○	○	○
画面消し	×	×	×	○
ecoドライブの評価	○	○	×	×
ガイドブック地点	○	×	○	○*2
VICS表示	○	○	×	×
ここいこ♪	○	×	○	○*2
車両センサーの確認	○	○	×	×
セキュリティコードの設定	○	×	×	×
地図更新/ アプリケーションバージョンアップ	○	×	○	×
リヤビューカメラ/ビデオ映像	○	○：リヤビューカメラ、×：ビデオ映像	×	×
テレビ(ワンセグ)視聴	○	×	○	○*2
音楽再生	○	○	○	○
動画再生	○	×	○	○*2
画像再生(スライドショー)	○	×	○	○*2
Gアプリの操作	○	×	○	○
Myストッカーの操作	○	×	○	○*2
カメラユニットの設定と撮影/再生	○	×	○	×

○印…制限しない ×印…制限する

*1 印…電池残量が少なくなると操作できない場合があります。

*2 印…吸盤スタンドを装着して走行した場合は、車動作(走行中)と同等の制限になります。

*3 印…走行した場合は、車動作(走行中)と同等の制限になります。

*4 印…走行中は動画一覧画面から動画ファイルを選択することができません。

*5 印…ランチャーボタンに表示される **カメラモニター** も操作することができません。[P.42]

走行／停車判定方法について

本機を車動作または吸盤スタンドを装着した電池動作で使用する場合、安全上の配慮から走行中はテレビ(ワンセグ)／動画などの表示や一部の操作を行うことができません。

本機では下記いずれかの方法で走行／停車判定を行います。

判定方法	内 容
車速感応タイプ走行規制による判定	本機が受信するGPS衛星電波などで、車の速度を感知して走行／停車判定を行います。
別売品に同梱されている パーキングブレーキ接続ケーブルによる判定*	別売品に同梱されているパーキングブレーキ接続ケーブルを使用している場合は、パーキングブレーキの操作による走行／停車判定を行います。

* 印…別売品に同梱されているパーキングブレーキ接続ケーブルを使用している場合は、パーキングブレーキ接続ケーブルによる判定を優先します。

お知らせ

- 車速感応タイプ走行規制で走行／停車判定を行う場合、GPS未受信時、低速走行時、発進と停止を繰り返したときなどは、正しく判定できない場合があります。
- 別売品に同梱されているパーキングブレーキ接続ケーブルを使用して走行／停車判定を行う場合、停車中でも車のパーキングブレーキをかけないと、本機は“停車中”と認識しません。

電源について

主電源スイッチについて

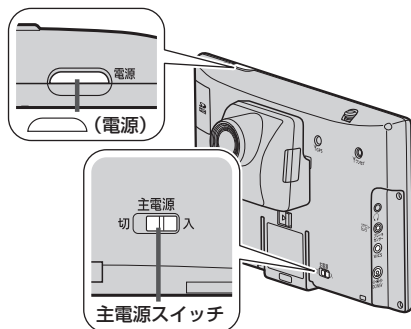
本機には主電源スイッチと電源ボタン “ (電源)” があります。

お買い上げ時は、主電源スイッチが「切」になっていますので、まず、主電源スイッチを「入」にして本機の電源を入れてください。

※日常のご使用では主電源スイッチは「入」のまま、 (電源)で電源の切／入を操作してください。

※長時間使用しないときは、主電源スイッチを「切」にしてください。

※主電源スイッチが「切」のときは充電できません。
充電する場合は「入」にしてください。

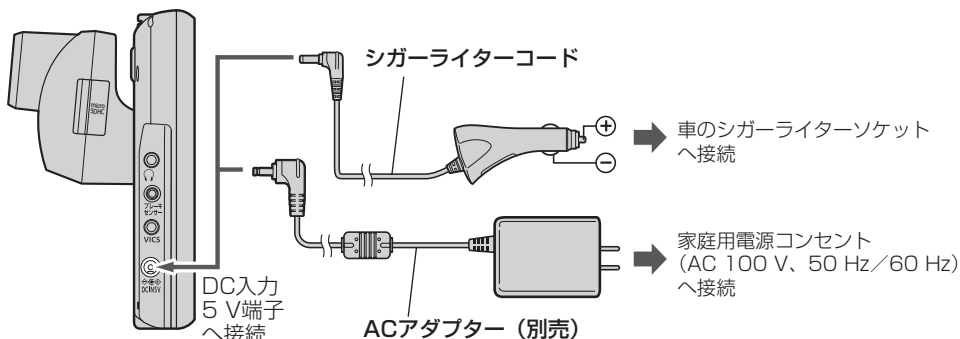


シガーライターコード／ACアダプターで使用する

1 シガーライターコードまたはACアダプター(別売)を本機に接続する。

※プラグはDC入力5 V端子の奥までしっかり差し込んでください。

※車で使用する場合は、付属の吸盤スタンドに取り付けて使用してください。[P.22]



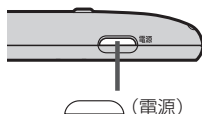
お願い

- シガーライターコードは、車に装備されているシガーライターソケットへ確実に差し込んでください。市販の増設用シガーライターソケットなどに差し込むと、外れたり正常に動作しない場合があります。
- シガーライターコードが外れそうになっていないかなど定期的に確認してください。ゆるみがあると接触不良で正常に動作しない場合があります。
- エンジンを切ってもシガーライターの電源が切れない車の場合は、エンジンを切ったあとに、必ずシガーライターソケットからシガーライターコードを外してください。長時間放置するとバッテリーがあがるおそれがあります。
- シガーライターコードを使用しないときは、シガーライターソケットから外してください。本機が接続されていない状態でも、シガーライターソケットに接続したままにしておくと電流が消費されます。

2 (電源)を約2秒押す。

：“ピッ”という音が鳴り、本機の電源が入ります。

※セキュリティコードを設定している場合は、セキュリティコードを入力し、**決定**をタッチしてください。[P.89]



3 警告画面の注意事項を確認して、**確認**をタッチする。

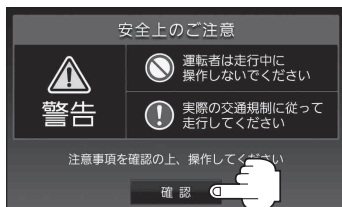
：現在地の地図画面が表示されます。

※メッセージが表示された場合は、メッセージを確認し**閉じる**または**OK**をタッチしてください。

※各AVモードの再生画面が表示された場合は、**現在地**をタッチすると、現在地の地図画面が表示されます。

※約10秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。

警告画面

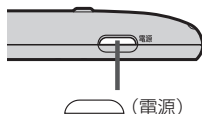


内蔵電池で使用する

- 1 シガーライターコードまたはACアダプター(別売)を接続していない状態で (電源) を約2秒押す。

：“ピッ”という音が鳴り、本機の電源が入ります。

※セキュリティコードを設定している場合は、セキュリティコードを入力し、**決定** をタッチしてください。[P.89]



- 2 警告画面の注意事項を確認して、**確認** をタッチする。

[P.36 手順 3]

お知らせ

- 内蔵電池の残量が少ないと、電源が入らない場合があります。充電してご使用ください。
- 内蔵電池保護のため、本機の内部温度が高温になると電源が入らない場合がありますが、故障ではありません。正常温度に戻ってから再度電源を入れなおしてください。

内蔵電池の充電について

シガーライターコードまたはACアダプター(別売)を接続して充電してください。

※充電するときは (電源) を約2秒押して電源を切ってください。満充電できない場合があります。

※主電源スイッチが「切」のときは充電できません。[P.35]

お願い

- ACアダプター(別売)を使用する場合、充電が終了したらコンセントから外してください。
- 内蔵電池の残量がなくなると、自転車位置情報(GPS衛星データ)が保持されません。内蔵電池の充電は定期的に行ってください。

充電ランプ／電池マーク

※充電ランプの位置については、[P.41] を参考にしてください。

充電状態	充電ランプ
満充電	消灯
充電中	点灯(橙色)

※電池動作時に (電源) を短押し(約1秒以内)し、画面消しにしたときは充電ランプが緑色に点灯します。

電池マーク

内蔵電池使用時に電池残量が表示されます。

残量：多	(緑色)
残量：中	(緑色)
残量：少	(赤色)
残量：なし	(灰色)

※低温下では、表示される電池残量が一時的に少なくなることがありますが、これは電池の特性によるものですので故障ではありません。



充電時間と連続使用可能時間

下記の時間はあくまでも目安です。数値を保証するものではありません。

※使用環境、使用する機能や設定により使用可能時間が短くなる場合があります。

充電時間 本機の電源を切った状態で、空の内蔵電池を充電した場合 (周囲温度 +25℃)	約2時間20分
連続使用可能時間 本機を連続して使用した場合(満充電、周囲温度 +25℃) ※テレビ(ワンセグ)受信時で音量/画面の明るさを中間(明るさ自動調整しない)にした場合	約1時間30分

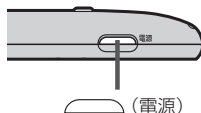
お知らせ

- 充電は必ず+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。
- 使用環境により電池残量が正しく表示しない場合があります。
※低温下での電池の電圧低下があるため、電池残量に関わらず電源が切れる場合があります。
- 周囲の温度が高温のときは、自動的に放電され、使用時間が短くなる場合や電源が入らない場合があります。
- 累積の使用時間により内蔵電池は少しずつ劣化します。そのため使用可能時間が短くなったり、充電時間が長くなったりすることがあります。劣化による修理交換は保証期間内であっても保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

本機の電源を切る

1 (電源)を約2秒押す。

：“ピッ”という音が鳴り、本機の電源が切れます。



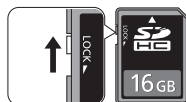
お知らせ

- 車動作時に車のエンジンを切るなどしてシガーライターコードまたはACアダプター(別売)からの通電がなくなると、自動的に本機の電源が切れ、再び通電が始まると本機の電源が入ります。
※家庭動作時の場合は、本機の電源が切れずに電池動作に切り換わります。[P.34]
- 本機の電源を切ってすぐに (電源)を約2秒押しても電源は入りません。
少し待ってから電源を入れてください。

SDメモリーカード／microSDHCメモリーカードについて

SDメモリーカードやmicroSDHCメモリーカードの抜き差しは、必ず電源を切った状態で行ってください。

- SDメモリーカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- SDメモリーカードでデータを読み書きしたり、microSDHCメモリーカードを挿入したカメラユニットで撮影、再生などをしているときに、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったりしないでください。
- 長時間使用すると、SDメモリーカードやmicroSDHCメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカードやmicroSDHCメモリーカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- 市販のSDメモリーカードやmicroSDHCメモリーカードが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 次のことをお守りください。
 - ・ 本機やカメラユニットから取り出したら、必ずケースに収納する
 - ・ 裏面の端子部を手や金属で触れたり、汚したりしない
 - ・ 貼られているラベルをはがさない
 - ・ シールやラベルを重ねて貼り付けけない
 - ・ 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしない



はじめに

使用できるSDメモリーカード／microSDHCメモリーカード

本機はSD規格に準拠した下記のメモリーカードに対応しています。

下記以外のメモリーカードは使用できません。

	ナビゲーション本体で使用できるメモリーカード	カメラユニットで使用できるメモリーカード
使用できるメモリーカード	● 市販のSDHCメモリーカード(32 GB以下)* ● 市販のSDメモリーカード(2 GB以下) ※ microSDHCメモリーカード*、miniSD／microSDメモリーカードも使用できます。使用する場合は、必ずカードに付属の専用アダプターを装着し、取り出すときは必ずアダプターごと取り出してください。	● 付属のmicroSDHCメモリーカード ● 市販のmicroSDHCメモリーカード* (Class6以上の4 GB～32 GB) ※ 上記以外のmicroSDHCメモリーカードを使用すると、正常に撮影ができなかったり、本機で認識できない場合があります。
フォーマットの方法	パソコンなどでFAT16またはFAT32でフォーマットを行います。	本機でフォーマットを行います。 P.82

* 印●SDHCロゴのある(SD規格準拠)カードのみ使用できます。

お願い カメラユニットで使用しているmicroSDHCメモリーカードは、ナビゲーション本体に挿入しないでください。

お知らせ

- フォーマット方法はそれぞれ異なります。上記以外の方法でフォーマットすると正しく使用できなかったり、本機で認識できない場合があります。
- 本書では特にことわりのない限り、ナビゲーション本体で使用できるメモリーカードを「SDメモリーカード」と総称して表記しています。
- 無線LAN内蔵のSDメモリーカードは使用できません。

SDメモリーカードを挿入する／取り出す

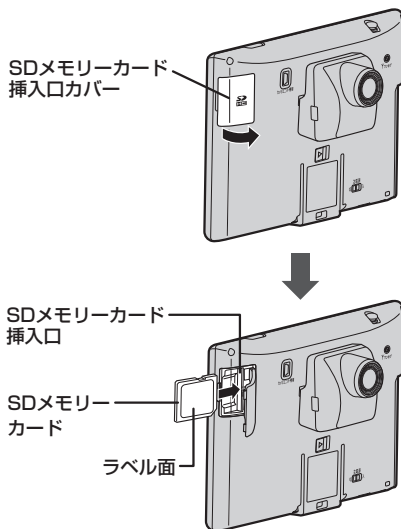
※SDメモリーカードの抜き差しは、必ず電源を切った状態で行ってください。

挿入する

- 1 SDメモリーカード挿入口カバーを開け、SDメモリーカード挿入口にSDメモリーカードを挿入する。

※矢印の方向に“カチッ”と音がするまで差し込んでください。

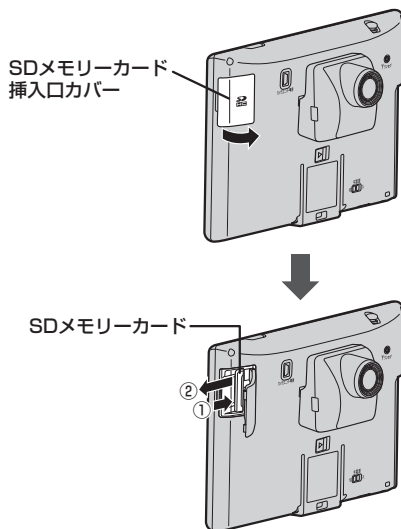
※SDメモリーカードを挿入した後は、SDメモリーカード挿入口カバーを“カチッ”と音がするまで押して閉めてください。



取り出す

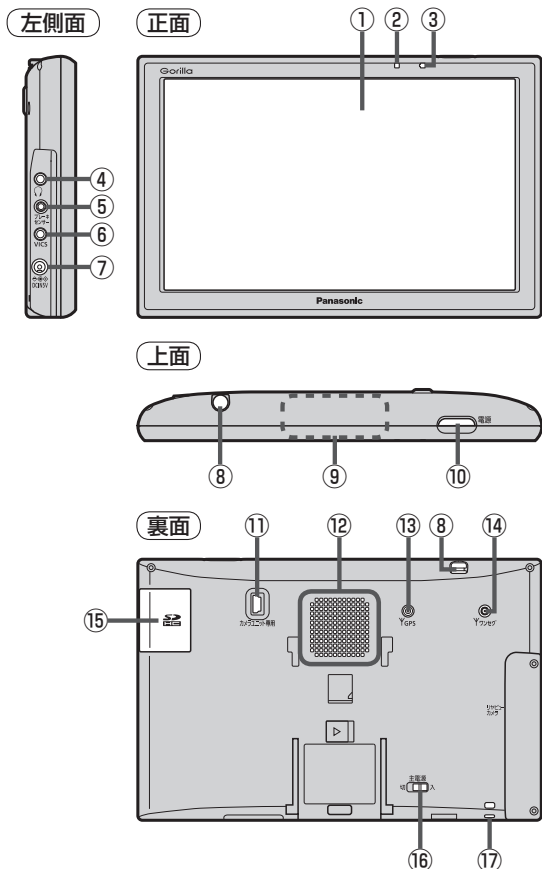
- 1 SDメモリーカード挿入口カバーを開け、SDメモリーカードを1回押してから取り出す。

※SDメモリーカードを取り出した後は、SDメモリーカード挿入口カバーを“カチッ”と音がするまで押して閉めてください。



各部のなまえとはたらき

※カメラユニットを取り外した状態の図です。



① タッチパネル部(液晶ディスプレイ)

② 明るさセンサー受光部

③ 充電ランプ

充電中、画面消し中をランプの色でお知らせします。[P.37]

④ ヘッドホン端子

市販のヘッドホンを接続することができます。

⑤ ブレーキセンサー端子／

カメラ・ビデオ映像入力端子

別売品に同梱されているパーキングブレーキ接続ケーブル／リヤビューカメラ接続ケーブル(別売)を接続します。[P.92]

⑥ VICS アンテナ端子

付属のVICSアンテナを接続します。[P.30]

⑦ DC入力5 V端子

シガーライターコードまたはACアダプター(別売)を接続します。[P.36]

⑧ ワンセグ用ロッドアンテナ

テレビ(ワンセグ)を見るときに伸ばして使用します。[P.75]

⑨ GPS アンテナ(内蔵)

GPS衛星電波を受信します。

⑩ ボタン(電源)

- 2秒以上押すと本機の電源を入れる／切ることができます。[P.35]
- 短押し(約1秒以内)すると音声はそのまま、画面を消すことができます。(電池動作時のみ)

⑪ カメラユニット専用端子

付属のカメラユニットと専用ケーブルで接続します。[P.20]

⑫ スピーカー

⑬ GPS アンテナ端子

GPSアンテナ(別売)を接続します。

⑭ ワンセグ用アンテナ端子

ワンセグ用フィルムアンテナ(別売)またはアンテナ変換ケーブル(別売)を接続します。

⑮ SDメモリーカード挿入口

[P.40]

⑯ 主電源スイッチ

長時間使用しない場合などに「切」にすることで放電量を抑えることができます。[P.35]
※お買い上げ時は「切」になっています。

⑰ ストラップ取付穴

市販のストラップを取り付けることができます。